

動物実験に関する自己点検・評価報告書

ノートルダム清心女子大学

2025 年 8 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☒ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ノートルダム清心女子大学動物実験委員会規則 ノートルダム清心女子大学動物実験指針
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 外部委員を含めるよう規則を改正し、公正性を高める必要がある。 指針を実効性のあるものにするために、より詳細なルールを追記する必要がある。
4) 改善の方針、達成予定時期 2025 年度中には、機関内規程の改正を目標としている。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ノートルダム清心女子大学動物実験委員会規則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 現状、実験申請や実験報告書などについて委員会で審査し、必要があれば修正など行っており、委員会の機能が果たされていると判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点についてはないが、機関内規程の改正を踏まえて、それに合致した委員会に改善される可能性がある。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
--

☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ノートルダム清心女子大学動物実験指針
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 現状、実験申請や実験報告書などで実験体制なども審査し、必要があれば修正など行っており、適正な体制で進められているものと判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☒ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 現状、該当する実験を行っておらず、今後も行う予定もないことから、本評価となった。
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書及び報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼育、保管体制は、基準に基づいて行われており、問題がないと判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 第1回動物実験委員会 審査結果
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会を設置し、公正な審査体制を構築し、前年度は1回委員会を開催し、動物実験計画1件を審査している。
4) 改善の方針、達成予定時期 現在、動物実験委員会には、該当学部および分野の研究者以外に、領域外の研究者を加えて、より客観性のある審査体制をとっているが、外部委員を配置する必要があるのが課題となっている。達成時期については、なるべく近いうちに実施したいが、詳細は検討中である。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 現状、実験申請や実験報告書などで実施状況を把握しているので、適正であると判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 現状、該当する実験を行っておらず、今後行う予定もないことから、本評価となった。
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験申請書や実験報告書などで実施状況を把握しているので、適正であると判断した。
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
--

2) 自己点検の対象とした資料 動物実験報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
4) 改善の方針、達成予定時期

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 当該研究者により、授業の中で 3R の原則、動物愛護管理法、指針等に関する教育等を実施している。ただし、委員会主体の説明会等の開催は実施しておらず、ライセンス付与等には至っていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 委員会主体の説明会等を実施する等の検討をし、受講者への個別ライセンスの付与等を行い、動物を扱う研究者等の資質向上を図ること。近いうちに実施したいが明確な達成時期は未定。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 本学における動物実験は、動物実験委員会による審査と、担当者への教育・訓練により、適正に実

施されていると評価する。ただし、委員会主体の説明会等の開催は実施しておらず、ライセンス付与等には至っていないので、委員会主体の説明会等を実施する等の検討をし、受講者への個別ライセンスの付与等を行い、動物を扱う研究者等の資質向上を図ること。

4) 改善の方針、達成予定時期

特に重大な問題はなかったものの、動物の飼育環境のさらなる改善や、実験記録の電子化による効率化が今後の課題として挙げられる。

委員会主体の説明会等を実施する等の検討をし、受講者への個別ライセンスの付与等を行い、動物を扱う研究者等の資質向上を図ること。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)